

Artist Profile

石塚裕美 (いしづかひろみ) Vocal

東京都世田谷区出身。1995 年メルダックよりメジャーデビュー。シンガーソングライターを軸に、シンガーとしては童謡からヘヴィメタルまであらゆるセッションを重ねて、ライブ、レコーディング、CM など活動の場を広げている。

コーラスサポートとしても、浅岡雄也、山下智久、岩崎宏美、近藤真彦、ポルノグラフィティ、乃木坂 46、Sing Like Taking など多数のアーティストのレコーディングやライブに参加。

また作詞・作曲家として楽曲提供も行う。近年はソロと平行して複数のユニットを同時進行中。

「ジャンルは関係なく私が歌えば『石塚裕美』の歌である」という考えで、どんな歌も自分色に染め抜くしなやかなヴォーカルスタイルに定評がある。

富川勝智 (とみかわ まさとも) Guitar

クラシックギターの本格的なプログラムによる演奏会と同時に、バロックギターやビウエラなどを用いた古楽の分野でも精力的に活動を行なっている。またジャズやポピュラーのミュージシャンとの共演も多く、ジャンルに囚われない活動で注目されている。

1972 年北海道札幌生まれ。上智大学外国語学部イスパニア語学科卒業。ギターを佐藤佳樹、手塚 健旨氏に師事する。その後スペインに渡り、ホセ・ルイス・ゴンサレス、アレックス・ガロバーに師事。帰国後、精力的に演奏活動を行うとともに、ヤマハやシンコーミュージックなどの出版物への編曲や教本執筆も多数。

音楽史への造詣も深く、ギター専門誌に連載などを行う。楽曲解説や奏法解説を多数執筆。「ガルシア・ロルカと同時代のギタリストたち」などの本格的な研究論文なども発表し、ギター史研究家としても精力的に執筆活動をしている。洗足学園音楽大学ワールドミュージック科講師(クラシックギター専攻)。公益社団法人日本ギター連盟理事。ギターリーダーズクラブ正会員。

CD「Circulation」や「Guitar Travelogue」「わたしたちのスペイン」はギター史への深い知識と演奏家としての優れたアンサンブル能力を感じさせる名盤として各メディアにて高く評価されている。2019 年に発売されたソロアルバム「組曲プラテロとわたし」はレコード芸術誌特選盤に選出された。